防災マップ

吉田町

東海地域における地震予知

観測データの変化に応じた地震予知情報等の発表

観測
東海地域に設置した地震や地殻の状況を精密に測定する観測測器
［地殻岩石歪計 地震計 など］

前兆現象（前兆すべり）の把握
気象庁での監視

情報発表

地震発生

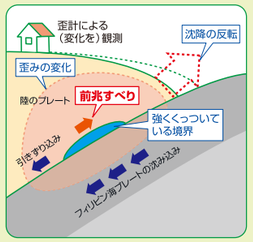
突発的

- 前兆すべりが急激に進んだ場合
- 前兆すべりが小規模であった場合　など、
  予知に関する情報を発表できない場合があります。

前兆すべりとは？

東海地震はプレート（地球表面を覆う厚さ数十～百キロメートル程度の岩石の層）の境界で起こる地震です。プレート境界は普段は強くくっついています。しかし、東海地震の前には少しずつすべり始め、最終的に大きくずれて東海地震となる、と最新の地震学では考えられています。この前兆的なすべり現象が前兆すべりです。

前兆すべりを捉えようと、歪計等の観測測器を東海地域に展開し、気象庁において24時間監視しています。



非常持出し品・備蓄品

非常持出し品は家族構成を考えて、必要なものを用意しておきましょう。
チェックリストで「わが家の非常持出し品リスト」を作り、
少なくとも一年に一回は、点検を行いましょう。

非常持出し品チェックリスト

- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 毛布
- ☐ タオル
- ☐ 救急薬品・常備薬
- ☐ 手袋（軍手）
- ☐ 懐中電灯 ※予備の電池
- ☐ 預金通帳
- ☐ 飲料水
- ☐ マッチ・ライター
- ☐ ロウソク
- ☐ 寝袋
- ☐ 下着類（着替）
- ☐ せっけん
- ☐ ちり紙
- ☐ ロープ
- ☐ ラジオ
- ☐ 印鑑
- ☐ 食料
- ☐ ナイフ
- ☐ 缶切り

このほかに必要な物があれば記入してください。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

いざというときのために、覚えておきたい応急処置

意識を失って倒れているとき

- 絶対安静にする。
- 危険な場所、寒冷な場所などで倒れていたり、治療の処置に必要な場合は、頭を大きく動かさないように注意する。
- あごを上げて「気道の確保」をする。
- ネクタイやベルトなどをゆるめてやる。

してはいけないこと
- 意識を失っている患者のからだをむやみに動かしてはいけない。

切り傷

- 大きな出血は、まず止血。
- 止血は、きれいなガーゼや布を傷口に直接あてて押さえ、圧迫する。
- 圧迫で止血しないときは、出血と心臓の間の、心臓に近いところの止血点を圧迫する。

してはいけないこと
- 人はかなりの出血に耐えられるので、あわてて汚れたままで傷口を押さえないこと。
- 傷口の圧迫に、脱脂綿やちり紙を直接あてないこと

骨折

- 必ずむくみがでるので、靴や靴下、きゅうくつな衣服はぬがすか切り開くかする。
- そのうえで、そえ木（副木）をあて、局所の安静を保つ。
- 骨折部を心臓より低くしないようにして、安定させる。

そえ木（副木）の代用品

してはいけないこと
- 捻挫や脱臼程度と勝手に判断したり、無理に動かそうとしない。
- 骨は細菌感染に弱い。骨が露出している場合は、不潔な手を触れないように注意。手を消毒するか洗うかして手当てをする。

やけど

- すぐに水で冷やす。十分に冷やす。
- 衣服の下のやけどは、衣服はそのままで、その上から水をかけ続ける。
- 水ぶくれは、破らないよう注意する。

してはいけないこと
- やけどの皮膚は細菌感染に弱いので、患部にふれない。そのためには薬をぬらない。
- 勝手に薬などぬらず病院へ急ぐ。

地震とは？

突然地面が激しくゆれ、1～2分続く現象

このゆれで、家・家具がたおれる
窓ガラスがわれる

ひどいときは、ビルがたおれる
橋がくずれる など

日本は地震の多い国です。

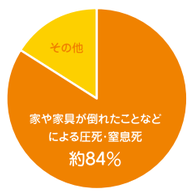
東海地震！

静岡県では、いままで100年～150年周期で巨大な地震がおきている。
前回（1854年）から150年が経過。
いつおきてもおかしくない！

津波！

大きな地震がおこるとまもなく大きな波が襲ってくる！
地震の時、海の近くにいたら、すぐに高い所へ避難する！

阪神・淡路大震災における死因（1995）



家庭内での対策が重要です！

東海地震への備え

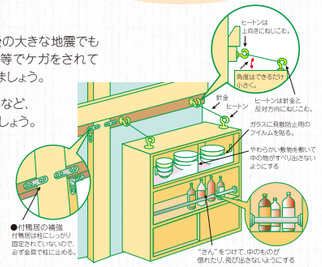
東海地震直前予知のための観測技術等は年々進歩していますが、
現状では直前予知ができる場合と、できない場合があります。
直前予知の可能性に関わらず、いつ地震が発生しても
しっかり対応できるよう、日頃から備えておくことが大切です。

対策 自宅等の耐震性を確認！

- 耐震診断を行い、自宅の耐震性を確認しましょう。
- 耐震性に問題があるとわかった場合は、耐震改修を行いましょう。
- ブロック塀の倒壊を防ぐため、耐震改修を行いましょう。

対策 家具の固定！

- 阪神・淡路大震災や、その後の大きな地震でも多くの人々が、家具の転倒等でケガをされています。家具は必ず固定しましょう。
- 寝室に重い家具を置かないなど、家具の配置にも気を配りましょう。



対策 食料・飲料水の備蓄！

- 食料品は7日分程度、飲料水は最低3日分用意しましょう。

対策 地域の防災活動に参加！

- 日頃から地域の防災訓練に参加しましょう。
- いざというときの避難場所や救出救助活動について家族や地域で話し合いましょう。

東海地震に関する情報

防災対応等に結びつく情報

すべての情報は、自治体の広報やテレビ・ラジオ等を通じて住民の方に伝えられます。

危険度

情報名	主な防災対策
東海地震観測情報 観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合や、前兆現象とは関係がないことがわかった場合に発表されます。	●防災対応は特にありません。 ●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常通りお過ごし下さい。
東海地震注意情報 観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます。	防災準備行動開始 ●東海地震に対処するため、以下のような防災の準備行動がとられます。 必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます。 救助部隊、救急部隊、消火部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます。 ●気象庁において、東海地震発生につながるかどうかを検討する判定会が開催されます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動して下さい。
東海地震予知情報 東海地震の発生のおそれがあると判断した場合に発表されます。	●「警戒宣言」が発せられます。 ●地震災害警戒本部が設置されます。 ●津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます。 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動して下さい。

各情報発表後、東海地震発生のおそれがなくなったと判断された場合は、その旨が各情報で発表されます。

我が家の防災メモ

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
吉田町役場	(0548)33-1111	水道工事店	
吉田榛原消防署	(0548)32-1141	病院	
榛原警察署	(0548)22-0110		
榛原総合病院	(0548)22-1131		
中部電力(株)島田営業所	(0547)37-2171		
NTT西日本(故障・問合せ)	113		

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

伝言の録音方法
171
ガイダンスが流れます
録音の場合 1
ガイダンスが流れます
(XXXX)XXX-XXXX
ガイダンスが流れます
録音（30秒以内）

伝言の再生方法
171
ガイダンスが流れます
再生の場合 2
ガイダンスが流れます
(XXXX)XXX-XXXX
ガイダンスが流れます
再生

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

避難場所	
家族の集合場所	
一時避難場所	
避難地	

家族の連絡先

氏名	名称	電話	備考